

令和7年度

幼稚園だより 3月号



文京区立千駄木幼稚園

誰かのために

園長 篠澤 恵理

先日は、文林中学校の有志の皆さんが来園し、園児たちに絵本の読み聞かせをしてくださいました。中学校の休み時間を利用しての交流ですが、子どもたちのためにという気持ちで申し出てくださったことを大変嬉しく思いました。子どもたちは、自分で選んだ本を読んでもらう喜びだけでなく、横に座るときや絵本を選ぶときに交わすやり取りも嬉しいようで、さり気なく甘える場面もありました。

また、年長組は、千駄木小学校の1年生と交流しました。教室では、席に座らせてもらったり、ランドセルを背負わせてもらったりしました。親切に声をかけてもらうと、次第に表情も和らぎ、小学校への楽しみが膨らんでいました。

幼稚園では、年長組から年中組へ、当番活動の引継ぎを行いました。モルモットの世話は、いくつもの行程があります。一生懸命にやって見せて伝えようとしたり、声のかけ方が分からずに見守っていたりすることもありました。「あっちに置いて」と伝えても、どこに置くのか分からないこともありました。どのように言えばよいか、やりながら考える時間となりました。当番が終わったことを教師に知らせる時に、みんなで並ぶことを教える場面では、「手をつないでみて」と声をかけていました。また、終わったことを伝える言葉を耳打ちして事前に知らせる姿もありました。相手のことを思いながら、状況に応じて伝え方を工夫したり、自分の動きを相手に合わせたりする姿に成長を感じました。伝えた子にとっても、相手に伝わった喜びを感じていたようです。これまで優しくしてもらえたことが、温かく心に残り、次年度へと引き継がれていくことを願っています。

令和7年度も、子どもと通った毎日の園生活を振り返ると、様々な思いが溢れることでしょう。ご家庭でも、子どもたちが自分の成長を実感できる機会があるとよいと思います。保護者の皆様が、子どもたちのためにと心をかけてきた毎日の積み重ねは、子どもたちの心の温かさとなって蓄えられ、これから出会う誰かのために行動する力となっていくと思います。幼稚園生活を通して、人との関わりの中で得られた温かな気持ちが、この先もつながっていくように支えてまいります。保護者や地域の皆様には、たくさんのご支援、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。



【当番活動の引継ぎ】モルモットの世話・お休み調べ



【お別れ遠足】小石川植物園